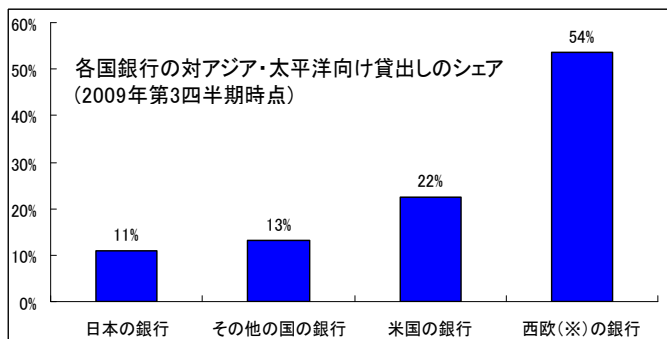


## 西欧諸国(※)の銀行の信用リスクとエマージング株の関係

- ✓ 西欧諸国の銀行のエマージング諸国向け貸付シェアは大きく、南欧債務危機の深化は、世界的な信用リスクの拡大につながる可能性。
- ✓ 世界の中央銀行は、このリスクを未然に防ぐため、共同してあらゆる手段を講じるものと考えます。

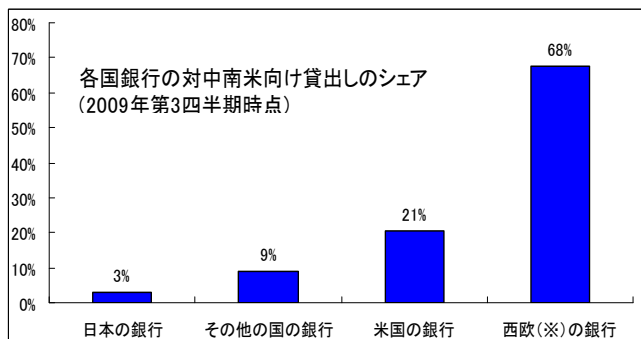
南欧諸国の財政問題を受け、同地域向け債権を多く保有しているドイツ、フランス、スイス等、西欧諸国の銀行の信用リスク拡大の思惑がくすぶり続けています。南欧諸国発の債務危機が更に拡大すると、西欧諸国の銀行が世界的に与信を減らし、同行の貸付シェアが特に大きいエマージング諸国(図表①②③)の流動性・信用リスクが高まる可能性があります。この思惑を視野に入れてか、欧州の金融機関の信用の質の代替指標(マークイットiTraxx金融指数)が劣化するのに伴い、エマージング株を中心に、世界の株価の軟調推移が続いています(図表④)。西欧諸国の信用市場におけるプレゼンス(存在)の大きさゆえに、世界の中央銀行は、欧州発の貸し渋り・信用リスク拡大を未然に防ぐため、共同してあらゆる手段を講じるものと考えます。

【図表①】



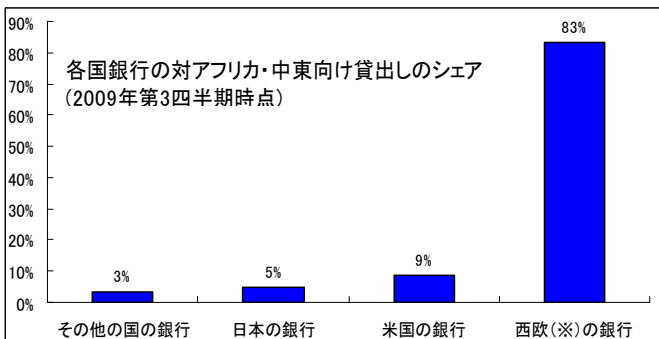
出所: BISのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成  
表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

【図表②】



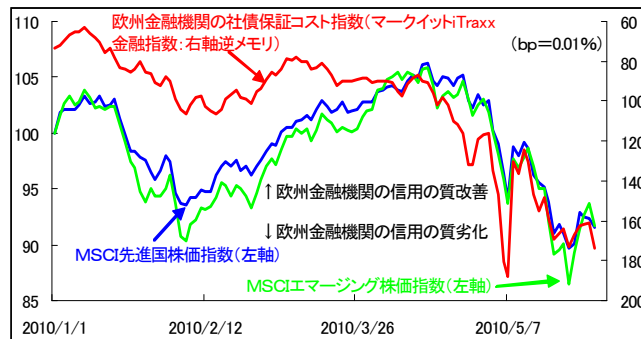
出所: BISのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成  
表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

【図表③】



出所: BISのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成  
表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

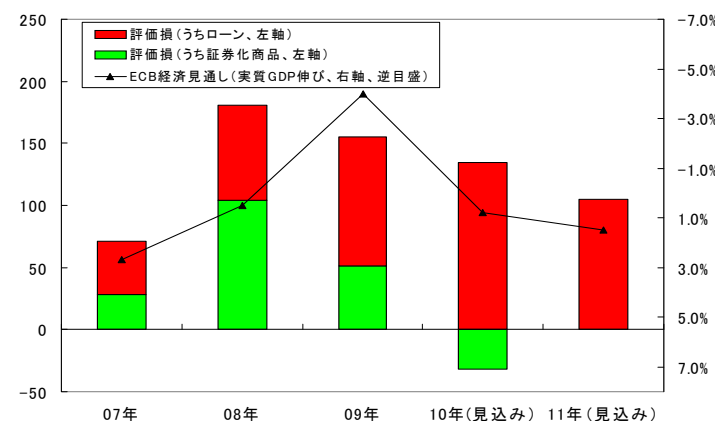
【図表④】



※MSCI株価指数は、2010年1月1日を100として指数化  
出所: ブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

【図表⑤】

### ユーロ圏の銀行における評価損計上額



※ GDP見通しは10年3月時点。  
出所: 2010年5月31日発表のECB金融安定報告書より  
ニッセイアセットマネジメント作成

欧州中央銀行(ECB)は、5月31日に発表したレポートで、ユーロ圏の銀行が2011年に最大で1050億ユーロの評価損・貸倒損失の計上を迫られるとの予想を発表しました(図表⑤)。

ただし、ユーロ安の恩恵を受けた景気の回復を前提にすれば、評価損の計上額は逡減してゆく見込みです。ECBが見込む景気回復と、各国の財政再建努力が両立するケースにおいて、銀行の経営環境の緩やかな改善が示され、ユーロ圏発の信用リスクの伝播リスクは後退し、世界的なリスク回避姿勢も収束するものと考えます(図表⑤)。